

平成 26 年 10 月 15 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ネ ク ス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 秋 山 司
(J A S D A Q ・ コ ー ド 6 6 3 4)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 代 表 取 締 役 副 社 長 石 原 直 樹
電 話 0 3 - 5 7 6 6 - 9 8 7 0

(訂正)

「平成 26 年 11 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 26 年 10 月 15 日に発表した「平成 26 年 11 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」について、下記のとおり、一部訂正がありましたのでお知らせいたします。

なお、訂正箇所は下線にて表示しております。

記

添付資料 6 頁

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(訂正前)

(省略)

当第 3 四半期連結累計期間におけるセグメントごとの業績は以下のとおりであります。

(デバイス事業)

既存製品のうちの長期間の導入実績の有る一機種において価格低下の要求がありましたが、為替変動のリスク等を鑑み販売を取りやめました。さらに今期販売を開始した他の新製品と受託開製品において、顧客からの要望による仕様変更等による開発期間延長にともない、販売開始タイミングがずれ込んだことにより、売上の一部が第 4 四半期及び来期にずれ込みました。

この結果、当第 3 四半期連結累計期間の売上高は 3,638 百万円 (前年同四半期比 96.3%増)、営業利益は 197 百万円 (前年同四半期比 17.3%減) となりました。

(省略)

(訂正後)

(省略)

当第 3 四半期連結累計期間におけるセグメントごとの業績は以下のとおりであります。

(デバイス事業)

既存製品のうちの長期間の導入実績の有る一機種において価格低下の要求がありましたが、為替変動のリスク等を鑑み販売を取りやめました。さらに今期販売を開始した他の新製品と受託開製品において、顧客からの要望による仕様変更等による開発期間延長にともない、販売開始タイミングがずれ込んだことにより、売上の一部が第 4 四半期及び来期にずれ込みました。

この結果、当第 3 四半期連結累計期間の売上高は 3,638 百万円 (前年同四半期比 96.3%増)、営業利益は 163 百万円 (前年同四半期比 17.3%減) となりました。

(省略)

以 上